

工事店様用

全量買取向け

ZMPMCD エコめがね

モバイルパックマルチコネクト

<パワコン接続タイプ>

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナー-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル

三菱電機製 パワーコンディショナー用 Ver1.7

SV センサ設定ツール 設定内容

<PCS メーカー> 三菱電機製

<PCS 型式> 「PV-PN□□K2、 PV-PS□□K2、
PV-PN44KX2、 PV-PSME45L/55L」

対応型式：	PV-PS40K2
PV-PN30K2	PV-PS55K2
PV-PN40K2	PV-PSME45L/PV-PSME45L2
PV-PN55K2	PV-PSME55L/PV-PSME55L2
PV-PN44KX2	

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルバック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1. 目的

エコめがねモバイルバックマルチコネクタ（以下 モバイルバックMC）をご利用いただくにあたって、「パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

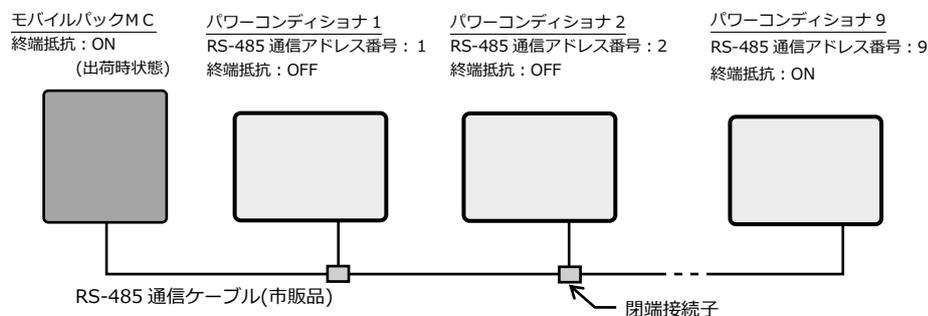
2. システム構成

以下に、パワーコンディショナのシステム構成例を記載します。

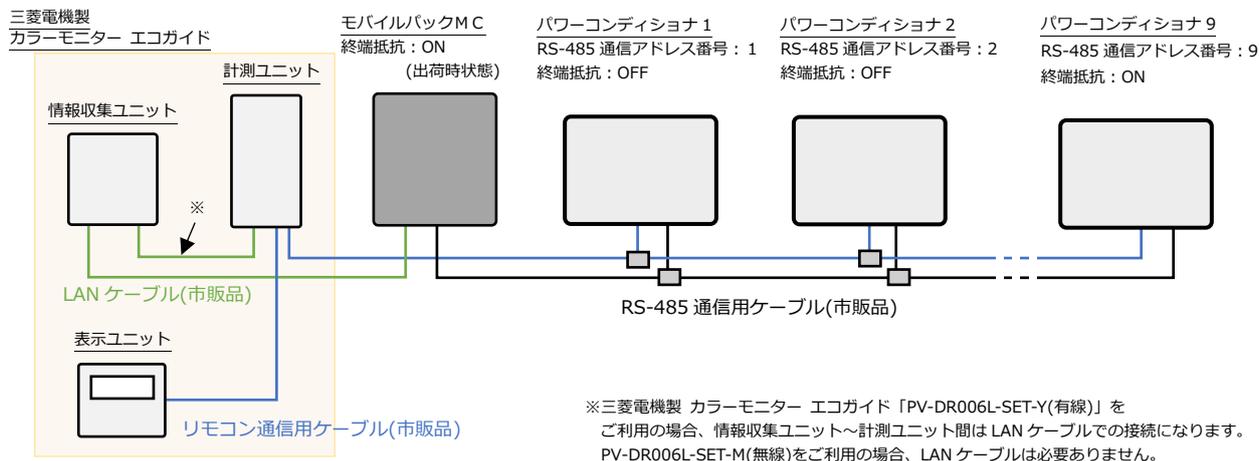
※ 型式によって接続可能台数が異なります。詳しくは弊社 HP をご確認ください。

https://partner.eco-megane.jp/mc_pcs.html

出力制御なし、9 台接続時



出力制御あり、9 台接続時 (出力制御対応時は、別途「つながるアラカルト(出力制御)」のご契約が必要)



※三菱電機製 カラーモニター エコガイド「PV-DR006L-SET-Y(有線)」をご利用の場合、情報収集ユニット～計測ユニット間は LAN ケーブルでの接続になります。PV-DR006L-SET-M(無線)をご利用の場合、LAN ケーブルは必要ありません。

3. パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルの作成

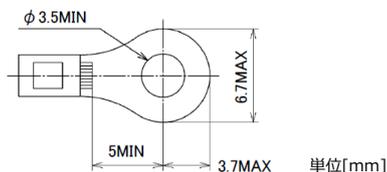
3-1. 準備部材・工具

パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル(RS-485 通信ケーブル)作成に必要な部材、工具を以下に記載します。また、パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、同様のポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル及び閉端接続子入手、加工してください。

●部材 (パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル 1 本あたり)

部材名	サイズ・規格	数量
絶縁被覆付き閉端接続子	接続配線の線径、本数から適合するものを選定	3 個
丸型圧着端子 (絶縁スリーブ付)	穴径 M3.5 [※]	2 個
ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル	FCPEV(0.65mm×1P)(市販品)	1 本
絶縁材料 (必要に応じて)	絶縁テープなど	任意

※丸型圧着端子 適合サイズ (モバイルパック MC 通信線端子台側)



<参考>パワーコンディショナ間通信ケーブルの部材について

パワーコンディショナ間の通信ケーブルに必要な部材については以下に記載します。

パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等もご確認の上、市販品入手、加工してください。

部材名	サイズ・規格	数量
絶縁被覆付き閉端接続子	接続配線の線径、本数から適合するものを選定	(PCS 台数-1)×3 個
ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル	FCPEV(0.65mm×1P)(市販品)	(PCS 台数-1)×2 本

<参考>リモコン通信用ケーブルの部材について(エコガイドを併設される場合)

リモコン通信用ケーブルに必要な部材については、エコガイドの施工・保守マニュアル等をご確認ください。

●工具

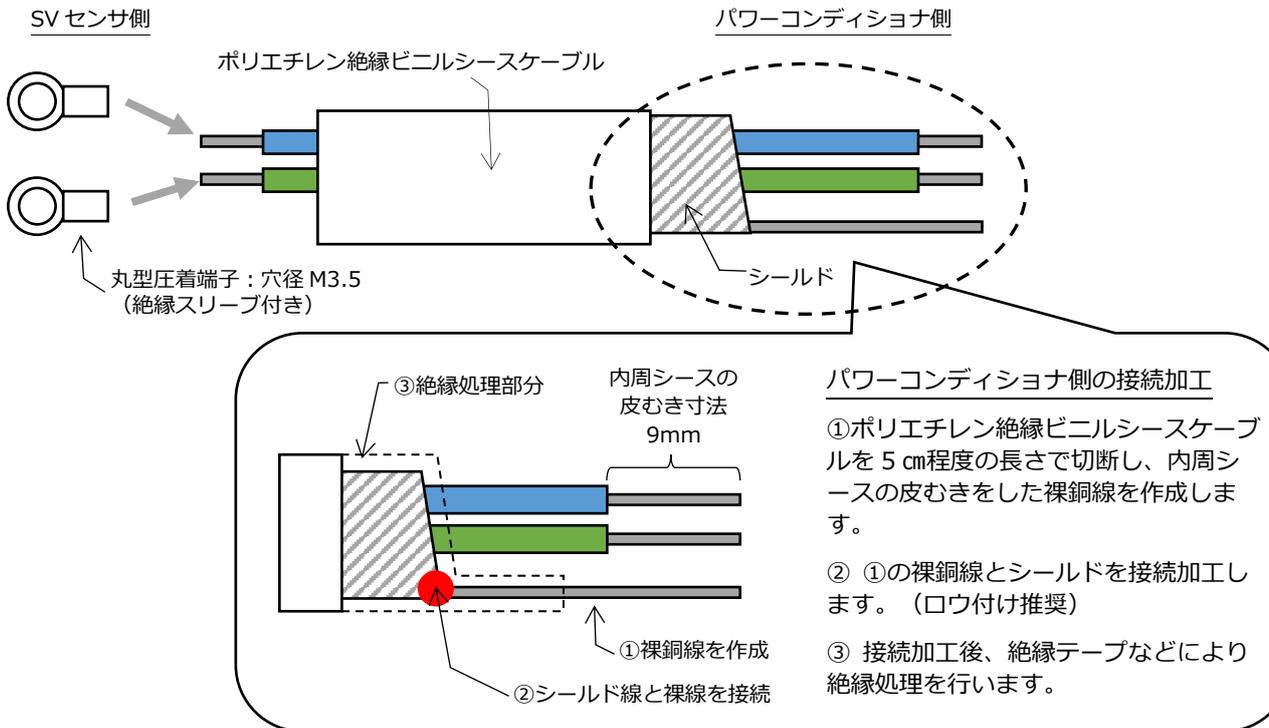
工具名	サイズ・規格	個数
ニッパー	-	1
ペンチ	-	1
プラスドライバー	-	1
トルクドライバー	-	1
圧着工具	圧着端子、閉端接続子のサイズに適合するものを用意	1
はんだ	-	1
はんだごて	-	1

3-2.パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの加工

●ケーブル加工方法

パワーコンディショナ - SVセンサ間の距離に応じた長さのポリエチレン絶縁ビニルシースケーブルを用意し、SVセンサ側は丸端子を圧着してください。パワーコンディショナ側は下図のように接続加工し、他のパワーコンディショナケーブルと共に閉端接続子で圧着接続してください。

また、パワーコンディショナ間のケーブルについても、別途ご準備頂いたポリエチレン絶縁ビニルシースケーブルの両端を下図のように接続加工し、使用してください。

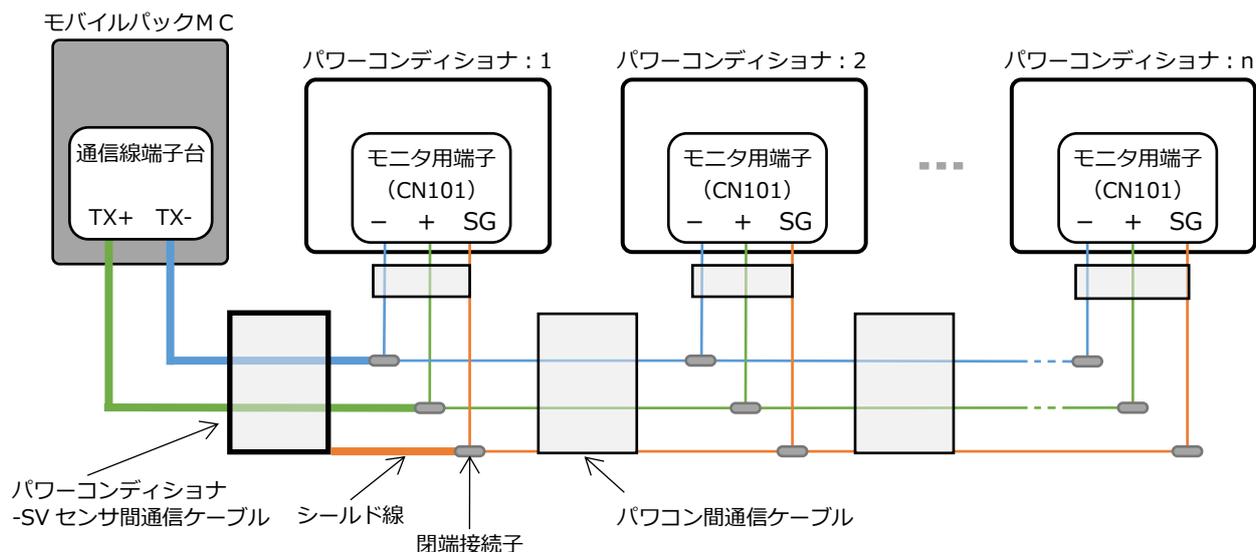


4. 通信ケーブルの取付け方法

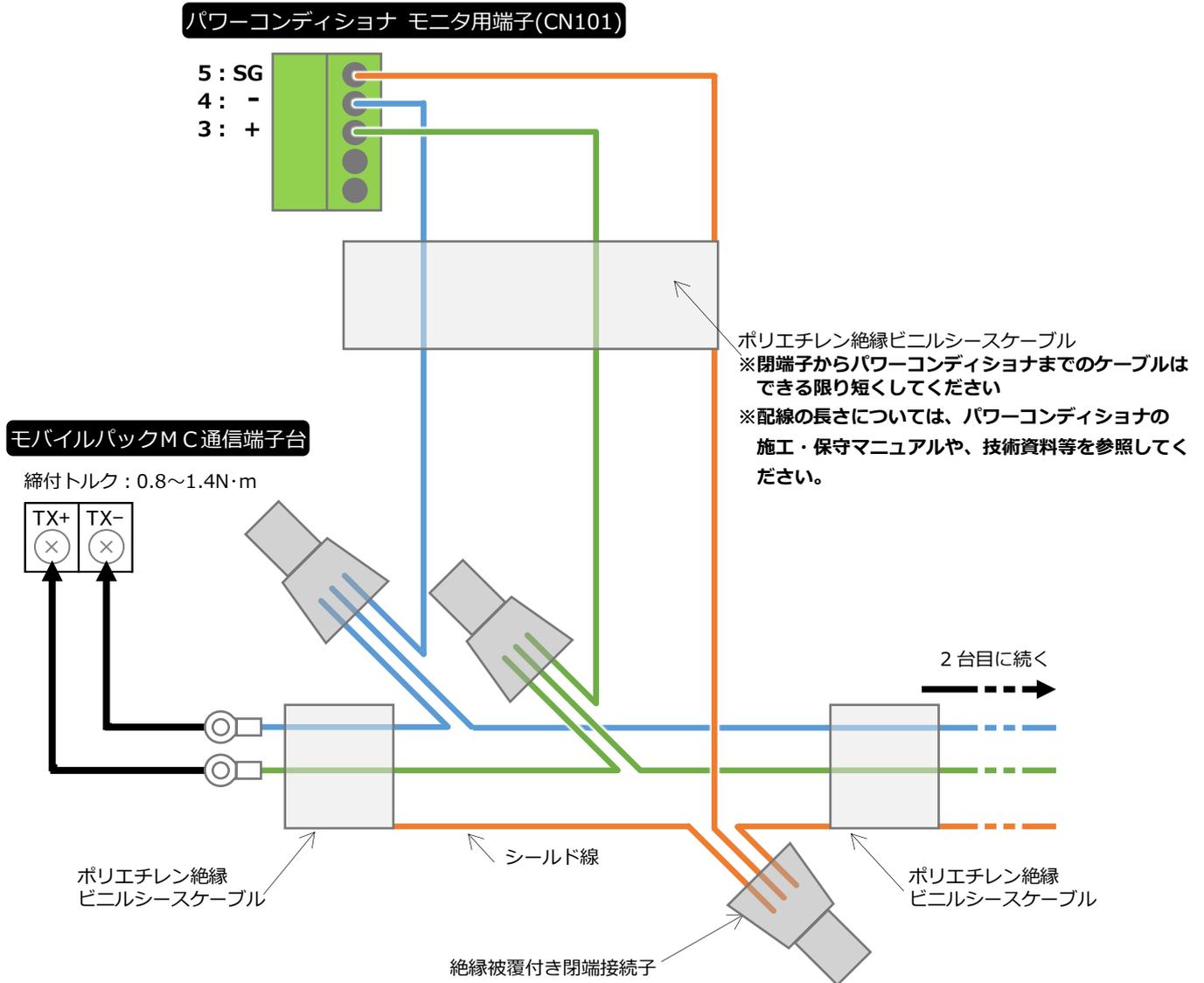
<注意>機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

モバイルパックMCの通信線端子台とパワーコンディショナのモニタ用端子（CN101）の間を、手順 3-2 で加工したケーブルで接続してください。接続には閉端接続子を用います。なお、通信ケーブルは直流ケーブル、交流側ケーブルからなるべく 300mm 以上離して配線してください。

●ケーブル取付け全体図



●パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル取付け部分図



●結線対応表

モバイルパックMC通信端子台	パワーコンディショナモニタ用端子	
信号名	端子番号	信号名
TX+	3	RS485(+)
TX-	4	RS485 (-)
—	5	SG

5. その他

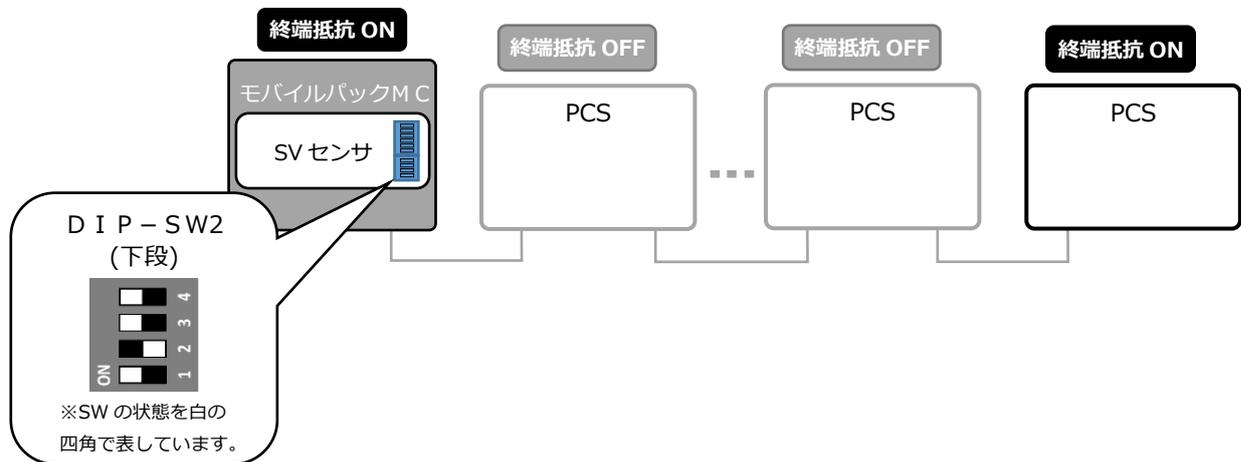
5-1. 終端抵抗の設定

接続パターンにより、SVセンサ及び、パワーコンディショナの終端抵抗を設定してください。
<注意> 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。
パターンAでご使用される場合は、SVセンサの終端抵抗の設定は不要です。

【パターン A（推奨）】モバイルパック MC が通信経路上の終端に設置されている場合

- ・ **モバイルパック MC :**
SV センサの終端抵抗設定を有効（DIP-SW2 No.1 を ON）に設定してください。
- ・ **パワーコンディショナ :**
通信線上の終端にある 1 台のパワーコンディショナの終端抵抗を ON とし、それ以外のパワーコンディショナを OFF にしてください。終端抵抗はモニタ用端子(CN101)付近にあり、上側が ON、下側が OFF となります。

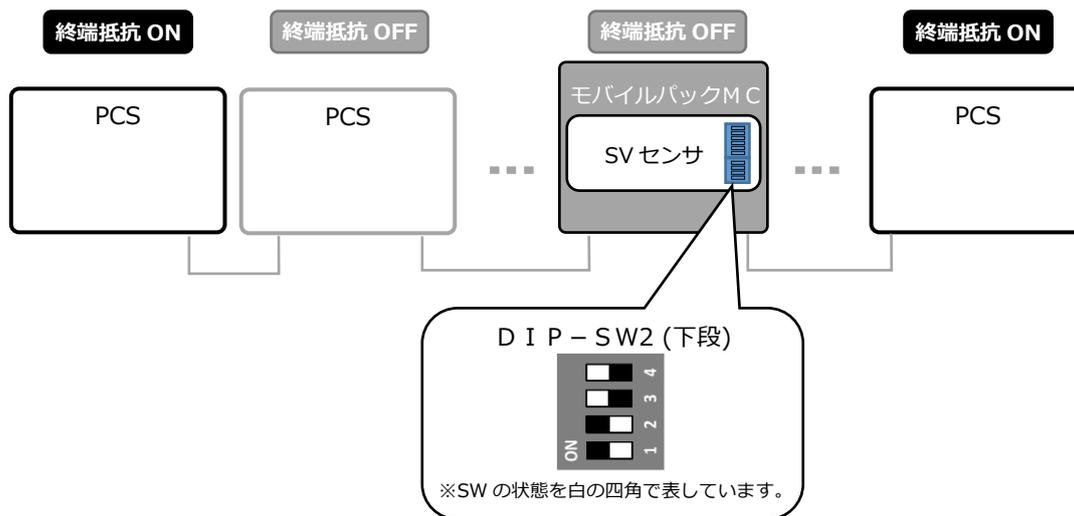
● 終端抵抗の設定（パターンAの場合）



【パターンB】 モバイルパックMCが通信経路上の終端に設置されていない場合

- ・ **モバイルパック MC :**
SV センサの終端抵抗設定を無効 (DIP-SW2 No.1 を OFF) に設定してください。
- ・ **パワーコンディショナ :**
通信線上の終端にある 2 台のパワーコンディショナの終端抵抗を ON とし、それ以外のパワーコンディショナを OFF にしてください。終端抵抗はモニタ用端子(CN101)付近にあり、上側が ON、下側が OFF となります。

● 終端抵抗の設定 (パターン B の場合)



5-2.RS-485通信アドレス番号(局番)の設定

パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等の資料に従い、パワーコンディショナのRS-485通信アドレス番号(局番)を設定してください。

- ※ リモコン通信アドレス番号とは異なりますのでご注意ください。
- ※ RS-485通信アドレス番号(局番)は1~9の範囲で設定してください。

MEMO

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

06-6221-0222

受付時間

10:00 ~ 17:30